

学科	教養重点科（16ヵ月、19ヵ月、2年コース）		
入学時期	4月生	年次	2年次
科目名	地理・歴史（日本史・世界史・地理）		
担当者	田縁美穂 浦中智史	単位数	下記に記載

■学習・教育目標及び到達目標

本科目を通じて、公務員試験に求められる基礎知識および論理的思考力を習得し、問題の本質を的確に把握したうえで、根拠に基づき適切な判断を行う力を養う。さらに、継続的な学習を通して、規律性・主体性・責任感を身に付け、公務員として必要な基礎的資質の形成を目指し、公務員試験に合格できる力を養う。

■成績評価方法および基準

地歴の科目配点：日本史 30%，地理 35%，世界史 35%

各科目において、小テストの成績 50%、小テストのレポート提出 50%とした得点を算出し、成績評価を行う。

合否	合格			不合格
評価	A	B	C	不可
評点	100～80	79～70	69～60	59～0

■教科書

オリジナルテキスト

■授業計画の内容

時間割上の科目名：【 日本史 】

時数	内容	コース		
		16ヵ月	19ヵ月	2年
1 - 4	古代～奈良時代	●	●	
5 - 7	平安時代	●	●	
8 - 10	鎌倉時代	●	●	
11 - 13	室町時代	●	●	
14 - 15	戦国時代	●	●	
16 - 22	江戸時代	●	●	
23 - 28	明治時代		●	
29 - 31	大正・昭和時代（戦前）		●	
32 - 34	戦後史		●	
35 - 40	演習		●	

時間割上の科目名：【 世界史 】

時 数	内 容	コース		
		16 か月	19 か月	2 年
1 — 10	中国史	●	●	
11 — 26	ヨーロッパ史（中世～第二次世界大戦）	●	●	
27 — 28	アメリカ史	●	●	
29 — 31	フランス史		●	
32 — 37	戦後史		●	
38 — 40	インド・イスラム史		●	

時間割上の科目名：【 地理 】

時 数	内 容	コース		
		16 か月	19 か月	2 年
1 — 4	世界の気候・植生・土壌	●	●	
5 — 8	各国地誌（ラテンアメリカ）	●	●	
9 — 12	各国地誌（ヨーロッパ）	●	●	
13 — 14	各国地誌（東アジア）	●	●	
15 — 19	各国地誌（東南・南アジア）	●	●	
20 — 21	各国地誌（西アジア）	●	●	
22 — 24	各国地誌（北アメリカ）		●	
25 —	各国地誌（オセアニア）		●	
26 — 28	各国地誌（アフリカ）		●	
29 — 31	地形について（山脈，扇状地，リアス海岸など）		●	
32 — 33	世界と日本の水産業と海流		●	
34 — 35	資源・エネルギー，人口，地図，都市問題		●	
36 — 39	日本について（自然・産業・貿易・世界遺産）		●	
40 —	総合演習		●	
社会 合計単位数		5 単位	8 単位	8 単位

■履修にあたっての注意事項

予習は必要ありません。授業で習ったところをしっかりと復習し，過去問題を解いて力をつけていきましょう。

■その他